

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

医療介護保険課

1 施設の概要等

施設名	府中市特別養護老人ホームほのぼの苑		
所在地	府中市上下町深江488番地3		
設置目的	介護保険及び高齢者福祉の増進を図り、各種サービスを総合的に供与するため		
施設・設備	ほのぼの苑建物		
指定管理者	R4.4.1	～ R7.3.31	社会福祉法人 翁仁会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	10,120 人	10,646 人	168 人	526 人	105.2%	%
	R5	10,517 人	10,502 人	-144 人	-15 人	99.9%	%
	R6	10,621 人	10,047 人	-455 人	-574 人	94.6%	%
	R7	10,676 人	人	人	人		%
	R8	10,731 人	人	人	人		%
増減理由	入所者の高齢・重度化は横ばい傾向(平均年齢:90.4歳・平均介護度:4.2)。年間退所者は11名(苑にて看取り3名、病院にて5名、特殊な医療にて1名、他施設へ1名、退所後に再入所1名)、退所から新規入所までの空きが増えた。 年間の入院者は27名。コロナ感染後や風邪症状後の体調不調も多く、入院が長期化した。空ベッドを空床ショートで活用するも、全部を埋めるまでにはいならず。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者・ご家族アンケート	利用者:入所・短期利用者
		ご家族:入所・短期ご家族
	【主な意見】	【その対応状況】
	・食事でミキサーでなくお粥を食べさせてあげたい。	・ドクターに相談したが、リスクが高く困難。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考	
報告書	年度	○	事業報告書	
	月報	×		
	日報(必要随時)	×		
管 理 運 営 会 議		【特記事項等】		
0 回 会場		・必要に応じて随時会議を実施する		
現 地 調 査 (実 施 月)		【指定管理者の意見】		
		・必要に応じて随時協議を実施。		
1月	2月	3月	4月	5月
【市の対応】				
6月	7月	8月	9月	10月
				○
11月	12月			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	0	0		R4	158,922	-1,208
	R5	0	0		R5	160,040	1,118
	R6	0	0		R6	160,635	595
	R7	0	0		R7		
	R8	0	-		R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	0		0	
	料金収入	160,040	160,635	595	入所稼働率:91.75%・短期稼働率:108.16%
	その他収入	83	300	217	
	計(A)	160,123	160,935	812	
	支出				
	人件費	127,101	124,939	-2,162	常勤:2名減 非常勤:1名増
	光熱水費	7,709	7,547	-162	電気使用量増
	設備等保守点検費	879	838	-41	
	清掃・警備費等	16,225	15,888	-337	
	施設維持修繕費	1,414	669	-745	浄化槽プロア・ブラインド交換・給湯機
	事務局費	21,373	21,544	171	さまざまな物価高騰・経費削減
	その他支出	7,039	6,785	-254	減免+減価償却+国庫補助金取崩
	計(B)	181,740	178,210	-3,530	
	収支①(A-B)	-21,617	-17,275	4,342	
自主事業	収入(C)	2,010	15,541	13,531	貸付負担金・受取利息・雑収入
	支出(D)	57,084	6,374	-50,710	法人経費
	収支②(C-D)	-55,074	9,167	64,241	
合計収支(①+②)		-76,691	-8,108	68,583	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	府中市北部圏域の福祉を担う法人として、利用者のかたの「安心・安全・元気・満足」、職員の「やりがい・働きやすさ」、地域との「つながり」を意識し運営しています。 施設設備の老朽化が多く見られている。利用者や職員の安全のため、早い修繕をおこなっている。今後も大きな修繕が控えている為、計画的に実施する必要がある。 職員の高齢化は続いており、職員の処遇改善などによる人件費の高騰は著明(人件費率:77%)今後の事業継続を考えるうえで最重要課題と考える。 入所利用者の高齢化・重度化(介護と医療)は横ばいで(平均介護度4.2・平均年齢90.4歳)で入院や看取り等の対象も多い。空きベットを空床利用でしっかりと活用を行うように様々な利用方法をケアマネと連携をして実践している。	府中市北部圏域の高齢者の生活を支える法人として、地域とのつながりを重視して運営され、適切に運営が行われている。 施設の維持管理については、大規模修繕等の必要に応じて計画的に実施していく。 利用者数については、目標人数には至っていないが、空きベット活用のショート利用で、高い稼働率を維持している。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	利用希望者減少・入所されるまでの期間の増加により空床が増えている。利用者の重度・高齢化により入院や看取り増も要因と考える。安定した経営には稼働率の安定は重要な要件となるため、空床に繋げない、空床を活用する取り組みを実施する。 職員確保も同様で、計画的な採用が難しい状態。外国介護人材も費用がかかり、小規模施設には厳しい。さらに、日用品等の物価や水道光熱費の高騰・老朽化による修繕などもあり、しっかりとしたビジョンをもとにした経営が必要。	○地域のサービス需要を反映した事業実施 ○安定的な事業継続に向けた取組